

令和6年度 看護職員合同研修計画

対象	研修名	テーマ	ねらい	強化するラダーの力	研修方法
採用1年目	初任者研修 (4月2日～4月12日)	<ul style="list-style-type: none"> ・病院事業管理者講話 ・県立病院の役割について、公務員倫理 ・人権・同和問題、危機管理、災害時医療 ・医療職者としての目標管理とキャリア開発 ・患者の権利と医療者の責務 など 	県立病院の使命と役割、県立病院事業の現状を学ぶ。専門職としての主体的・継続的にキャリア開発をしていくための支援を知り、自己実現に向け、自己研鑽していく姿勢を持つ。	ケア ニーズ 協働 意思決定 など	講義 グループワーク 演習
		<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策の基礎知識 ・医療安全 ・一次救命処置とAED操作 	安心・安全・安楽な看護を提供するための基本的看護技術を習得する。		
	看護実践トレーニング (4月16日～5月23日の隔日)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力・採血トレーニング ・急変予測・静脈留置針挿入トレーニング ・清拭に係る一連の看護技術 ・滅菌操作・血糖測定に係る一連の看護技術 ・抗生剤投与までに係る一連の看護技術 ・看護師の1日の業務(患者情報収集～スケジュール組み立て～清拭～報連相～検査出棟～報連相～申し送り) など 	安心・安全・安楽な看護を提供するための基本的看護技術を習得する。	ケア	演習 グループワーク
	採用2か月	メンバーシップ ～組織は報告・連絡・相談が命～	チームメンバーとして自分の思いや考えを相手が理解できるように伝える。コミュニケーションにおける自己の課題を見つけ、目標を立てて、自主的に取り組むことができる。	チームワーク	講義 グループワーク
		インシデントレポート	インシデント・アクシデントを報告する目的、事故の影響レベルを理解できる。次に活かせるインシデントレポートを書くことができる。	安全	講義 グループワーク
		薬剤管理	薬剤の取扱いについて理解できる。	安全	講義 演習
		医療機器	輸液ポンプ・シリンジポンプ・低圧持続吸引器・心電図モニター・人工呼吸器・医療ガスの正しい取り扱いがわかる。	安全	講義 演習
		自分の病棟の1日を知ろう	日勤・夜勤シャドーイング体験による学びを共有し、患者・看護師の1日について知る。	ニーズ	グループワーク
		ストレスマネジメント①-1	自分自身の認知の癖を知り、自分の認知と行動を変えストレスを減らし、安定した精神状態での看護や、自己効力感の向上に繋げる。	セルフ コントロール	講義 グループワーク
	採用3か月	複数患者を受け持ってみよう	複数受け持ち患者の情報整理について学び、タイムスケジュールを立てることができる。	ケア	グループワーク
		リフレクション①-1	リフレクションについて理解する。	内省	講義
		ストレスマネジメント①-2	自分が抱えているストレスは何か、ストレスにどのように向き合い、対処すればよいのかを学び、ストレス軽減に繋げる。	セルフ コントロール	講義 グループワーク
		看護が見える記録ってどう書くの？	NANDA・NOC・NICを使った看護計画立案と、看護師に求められる看護記録について理解できる。	ケア	講義 グループワーク
		感染対策	看護実践場面における感染対策を身に付ける。	安全	演習
		3か月を振り返ろう	看護実践場面におけるコミュニケーション経験を共有することで、今後の実践に活かす。	セルフ コントロール	グループワーク
	採用4か月	フィジカルアセスメント①	フィジカルイグザミネーションスキルを身につける。	ケア	演習 グループワーク
	採用5か月	ハイリスク薬	麻薬・毒薬・劇薬・向精神薬の正しい取り扱いと管理について理解する	ケア	講義
		リハビリテーション	各病院におけるリハビリテーションの意義・目的を知り、日常の看護に活かす。	ケア	講義
		移乗のテクニック	介助する側も、される側も、安全安楽に移乗できるテクニックを習得する。	ケア	講義 演習
		自分の病棟看護を意味づけよう	5月の夜勤シャドーイングで明らかになった課題を持って再度夜勤シャドーイングを行い、自部署で実践されている1日の看護について意味づけることができる。	ニーズ	グループワーク
採用6か月	多重課題のシミュレーション	多重課題に対して適切な優先順位が選択できる。知識・技術の習得度を振り返り、自己課題を明確にできる。	ニーズ ケア	演習 グループワーク	
採用7か月	笑顔で築く信頼関係	医療現場における人と人とのコミュニケーション、関係づくりの重要性を理解する。ワークショップを通して、人と向き合う充実感を体験する。	セルフ コントロール	講義 演習	
	リフレクション①-2	自らの看護実践場面を振り返り、看護の思いを自分の言葉で語るができる。	内省	講義 グループワーク	
採用9か月	看護倫理 ～倫理的感受性を高めよう～	日常の看護実践における倫理的問題に気づくことができる。	ニーズ	講義 グループワーク	
	メンバーシップフォローアップ ～組織のひとりとしての役割～	自らのコミュニケーションにおける課題について振り返る。PDCAサイクルを回し続けて自己目標が達成できたことを共有し、他者の成功経験を取り入れ、自己成長に活かす。	チームワーク	グループワーク	
	ACLS	二次救命処置を正しく理解し、救急看護の知識・技術の習得と気管挿管介助技術を習得する。	救命救急	講義 演習	
採用10か月	看護実践場面の振り返り発表会	自らが経験した看護実践場面を振り返り、深めた看護観を共有する。	内省	グループワーク	